

5 掃除（無言掃除に取り組もう！）

(1) 掃除をすると、いいことがある

人は、毎日見ているものや接しているもの、つまり、「環境」にとっても強い影響を受けます。汚い教室や清潔感のない乱れた身なり、乱暴な言動に囲まれた生活をしていけば、やがては気持ちもすさみ、学校や学級、そして自分自身もダメになってしまうのです。生活する時間の多くを過ごす学校ですから、居心地のいい環境を整えることは、とても大切なことですよね。

「掃除」に精一杯取り組むことで、生活が変わります。心が変わります。学習の成果が変わります。

きれいになると気持ちいい!!



(2) 無言掃除だと、もっといいことがある 成長がある

「無言掃除」によって育つ心・さらなる効果

がまんする心・・・自分の行動を律する機会が毎日持てる。人の行動へのいらだちも掃除中はがまん。

思いやりの心・・・目的はきれいな環境を作ること。今、友達が何をしてほしいのか、気配りをする。助け合っ
て掃除しよう。

気づく心・・・余った時間は、みんなや学校の役に立つことを自分で見つける「見つけ掃除」をやる。

工夫する心・・・あそこが汚れているな。反省の時間にみんなに声をかけよう。

どうすれば早くきれいにできるかな。

工夫する力は時間を有効に使うためにとって大切な力。

感謝する心・・・お世話になっている机・椅子・教室・校舎などに感謝の気持ちを持ち、大切に扱おう。

(机や椅子を大事に運ぶ。床やロッカーをみがき上げる。)

正直な心・・・人が見ている・見ていないで態度を変えない。自分で自分をほめるあなたになろう。

(3) 掃除の仕方

①予鈴で移動。予鈴は掃除の準備を始める時間です。昼休み時間から切り替えてすみやかに移動しましょう。掃除場所に着いたら掃除スタート。

②窓を開けよう。ほこりが立たない掃除はありません。十分換気をしましょう。

③バケツに、半分以上水を入れ利用しよう。



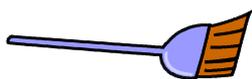
水道の蛇口の水で直接ぞうきんを洗うと大量の水を使うことになります。バケツを使って節水を心がけてください。その際、バケツに少しだけ入れて洗っても、ぞうきんはきれいになりません。

バケツの水の汚れは、掃除を頑張った証です。

④雑巾は、表と裏をしっかり使う。

ぞうきんは半分に折って使います。ぞうきんが汚ければ拭いた床はきれいになりません。汚くなったらバケツで洗って下さい。ぞうきんは手でしっかり持ってザブザブもみ洗いして下さいね。

⑤ホウキは、ふらない。ホコリをやさしく集める。



ほうきはラケットではありません。大きくふり払う人、くるくる回す人を見かけます。一度舞い上がったホコリはなかなか降りてきません。せっかくきれいにしたところに降ってきます。ホコリを集め終えたら机運びや椅子をおろすなど他の手伝いをします。

⑥掃除は、すみずみまで。

汚れはすみっこに残りがちです。そうするときれいに見えなくなるものです。最後にすみぶきをもう一度念入りに。

⑦境界線は少しずつ入ろう。

思いやりの気持ちときれいにするという目的を忘れず、掃除の範囲は重なり合うようにしましょう。重なっても掃除もれのないように。